

山重慎二(略歴)

1962年、鹿児島県生まれ。1985年、一橋大学経済学部卒業。1988年、ジョンズ・ホプキンス大学に留学。1992年、同大学経済学研究科より博士号を取得。トロント大学経済学部助教授を経て、1996年、一橋大学経済学部に着任。ハーバード大学法科大学院客員研究員、大和総研経営戦略研究所客員研究員などを経験し、現在、一橋大学大学院経済学研究科および国際・公共政策大学院教授（一橋大学医療政策・経済研究センター研究員兼務）。

主な研究業績

『日本の交通ネットワーク』（大和総研経営戦略研究所との共同編著）中央経済社、2007年
＜第33回交通図書賞＞

『家族と社会の経済分析～日本社会の変容と政策的対応～』東京大学出版会、2013年
＜第56回日経・経済図書文化賞＞

『人口動態と政策—経済学的アプローチへの招待』（加藤久和氏・小黒一正氏との共同編著）
日本評論社、2013年

『財政学（ベーシック+）』中央経済社、2016年

Economic Analysis of Families and Society: The Transformation of Japanese Society and Public Policies. Springer Japan, 2017年

「新潟県少子化対策モデル事業の効果検証：テクニカル・レポート」2019年
(<http://www.pref.niigata.lg.jp/shoshika/1356916317955.html>)

現在の研究プロジェクト

科学研究費（2017～2020年度）「リスク、ネットワーク、デモクラシー：持続可能な社会経済の制度設計」（研究代表者）

内閣府経済社会総合研究所（2019～2020年度）「2025年以降に向けた国民の安心と関連制度の持続可能性に関する研究ワーキンググループ」（主査）

最近の主な社会活動

文部科学省（2009年度～）「学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議」（協力者）

神奈川県（2013年度～）「神奈川県子ども・子育て会議」（委員）

新潟県（2015～2018年度）「新潟県少子化対策モデル事業効果検証委員会」（委員）

町田市（2016～2018年度）「町田市公共施設再編計画策定検討委員会」（委員）

国立市（2016年度～）「国立市これからの公共施設の在り方審議会」（会長）

鹿児島銀行（2018年度～）社外取締役